



今回のかやぶんかわら版では、前号に引き続き、北杜市内の民俗芸能についてご報告します。今回は、白州町の「甲州台ヶ原とらがしら虎頭の舞」です。
(内海)

甲州台ヶ原 虎頭の舞

〇〇舞と聞くと、「獅子舞」を思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか？ 北杜市内にも多くの獅子舞が伝わっていますが、白州町台ヶ原には、獅子舞と似て非なる「虎舞」があります。頭に被るのは、獅子頭ではなく、虎頭。山梨県内では、唯一、白州町台ヶ原で行われています。

虎舞は、岩手県や神奈川県、静岡県など、太平洋側の漁村に多く見られますが、長野県などの山村でも行われています。静岡県下田市に残されている虎舞に関する記録には、虎舞は「平かに治まる御代の恵み」と書かれており、舞が世の中の安泰を祈願する奉納の舞であることが分かります。虎は風を司る神とされ、漁村では特に、風を鎮め、大漁を祈念するために奉納されます。

白州町台ヶ原の「虎頭の舞」については、『甲斐国社記・寺記』^{※1}の荒尾明神兼武神主の台原長門守が提出した由緒書の「田中明神」の項に次のように書かれています。

虎石社

祭日 正月十五日

形チ虎ニ似テ靈石ナリ土人瘡ヲ誓フ昔時当邨(=村)ニテ正月衢(=巷)ノ神ノ祭りニ獅子ノ頭ヲ冠ケレハ此石崇リ成セシ故村卒怖レテ虎ノ頭ニ替ケルトソ依之今ニ邨中物ノ事毎(舞)獅子ヲ禁シ候(後略)

※(=〇)は筆者注

往時、神社境内に形が虎に似ている石があり、それに獅子頭を載せたところ祟りがあり、祟りを怖れた村人はそれを虎頭に替え、それ以来神社では獅子舞を禁じている、という内容です。当時は小正月に「虎頭の舞」を奉納していたようですが、現在では、田中荒尾神社の秋季例祭(9月22日・23日)にて奉納されています。明治初年頃には一度衰退しましたが、平成3年に「甲州台ヶ原宿虎頭の舞保存会」により復活しました。

秋季例祭では、22日夜に、「虎頭の舞」(虎2頭、篠笛、太鼓、鉦)が台ヶ原約100戸を回ります。それぞれの家に練り込み、小さなお子さんには虎が嘔み付きます。4ヶ所の休憩所と台ヶ原宿本陣の北原家住宅(蔵元七賢)、そして田中荒尾神社の境内では舞を奉納します。舞には、「本調子」「女男」「寝起き」「田中」という4種類があります。本来、23日に神社境内でこれら全ての舞が奉納されるのですが、今年はいにくの雨で、神社境内での奉納は中止になりました。

ただ、「虎頭の舞」は田中荒尾神社秋季例祭以外にも、10月の台ヶ原宿市や2月の七賢蔵開きでも披露されますので、機会がありましたら、ぜひご覧になってください。

※1『甲斐国社記・寺記』とは、明治維新の変革の中、明治元年に甲斐国(山梨県)の神社・寺院から甲州寺社総轄役所に提出された由緒書を元にまとめられたもの。



かやぶんミニ★ニュース 9月11日(土) 紙すき体験

今回のイベントには、身延町の西嶋和紙の里から、紙すきの職人さんが講師として来ていただきました。まずは、紙の原料について説明していただきました。写真で講師の先生が持っているのが、紙の原料である「楮こうぞ」です。



体験では、まず、画用紙大の大きさの和紙を漉きました。網が張られている木枠に、原料を流し込んでもらいます。そして、木枠を動かして漉いていきます。大きな木枠は、小さな子ども達にはちょっと重かったかな？原料が垂れなくなったら、机に移動して、色のついた原料で絵や文字を書いたり、折り紙や押し葉を載せてオリジナルの和紙を完成させます。

続いて、ハガキの大きさの和紙を、一人2枚ずつ漉きました。こちらの原料は楮でなく、書道用紙などに使われる、藁・三楮みつまた・パルプを原料とした溶液です。楮よりしっかりとっていて、色も白くみえます。

紙すき体験が初めての子が多かったのですが、みんな、楽しみながらとても素敵な作品を作ってくれました。



明野町民俗芸能保存会 第1回伝統芸能研修会

明野のお神楽

日時：平成22年10月24日(日)

午前10時～午後3時半

(休憩時間：12時～12時40分)

※開催時間中、自由に入退場が出来ます。

場所：明野総合会館 多目的ホール

入場料：無料

内容：

北杜市明野町の6つの神楽保存団体が構成される「明野町民俗芸能保存会」主催の催し。祭りで、一日かけて奉納される舞の多くを、それぞれの神楽保存団体が担当し、舞を披露します。6つの神楽保存団体が一堂に会して舞を披露することは、滅多にありません。8年目を迎えた「こども神楽教室」の子ども達も、舞を披露させていただきます。

問合せ：

事務局 NPO法人茅ヶ岳歴史文化研究所
(0551-25-2019)

＝ご寄付＝

五味 和子様 誠にありがとうございました。

＝会員募集＝

茅ヶ岳歴史文化研究所では、私たちと一緒に活動して下さる方、ご賛同いただける方を募集しています。

こんなことをやってみたい人は、ぜひ!

- 歴史や文化財の研究を通じて知識を深めたい
- 活動を通じて文化財保護や活用に役立ちたい
- イベントを通じてさまざまな人と交流したい

入会金：1000円 年会費：1000円

＝編集後記＝

先月までの暑かった日々が嘘のように涼しくなり、めっきり秋めいた風が感じられるようになりました。急な気温の変化に、体調を崩されないようお気をつけ下さい。

第14回企画展、「食の歳時記」が9月30日で終了いたしました。たくさんの方々にお越しいただき、ありがとうございました。次回企画展もどうぞお楽しみに。

もうすぐ、今年も子ども神楽教室が始まります！今年の秋は芸能の秋。神楽にチャレンジしてみませんか？

かやぶんかわら版 第64号

平成22年9月30日発行

特定非営利活動法人 茅ヶ岳歴史文化研究所(かやぶん)

〒408-0204 北杜市明野町上手8310
明野歴史民俗資料館内

TEL/FAX 0551-25-2019

ウェブサイト <http://www.kaya-net.jp>

E-mailアドレス info@kaya-net.jp